

「自分史講座」を開催しました

11月6日から3週・3回にわたり、岬の歴史館の教室で「自分史講座」を開講しました。歴史館サポーター竹中松子さんによる講座は、アットホームな雰囲気に入れられ、参加者それぞれが自らの人生を振り返りながら、充実した内容で進められました。

【講座に参加された方々の感想】

平田 榮さん

自分史講座に参加させていただきました。
講師の話はよく判り、文章について考え方に刺激が多くあり大変良かったです。
自分史の取組みについて近づいてくる思いがありますが、自分日記の続きくらいから歩みたいです。

北条 一枝さん

以前から自分史とは？が気になっていました。書いてみたいと思う訳でもなく、ただ漠然とどうしたものかなーと置いていたくらいです。歴史館での度にわたり自分史講座が開かれる事を知り申し込んだ次第です。受講者は少なかったですが、講師さんが一生懸命に分かり易く教えて下さるパワーというかエネルギーというか熱意が伝わって楽しいひと時でした。

1回目は自分史の目的、自分史の書き方、2回目は自分史を書き終えた後何をするのか。3回目は本を作る。袋とじにするか、中綴じ印刷にするのか、手綴じ印刷にするかなど、事細く見本を見せてくださって、ご指導いただきました。

講師さんの豊富な知識を少し身に付けてさせてもらった気分になりました。今度又講座が開かれましたら多くの方が参加なさってください。

楽しいですよ。

いちばん関心があって

いちばん敬遠されそうな「自分史講座」

自分にしか書けない「自分史」なのに・・・

書きはじめる事に踏み出せない・・・企画の発端はここにあった。

秋の風情をほしいままに、長閑な雰囲気静かな岬の歴史館で、講座は始まった。熱意ある受講者の方々と、はじめての出会いと思えないほど話がはずんだコーヒータブレイク、充実した質疑も和やかに3回の講座を終えた。この期間に自分史が書きあがるわけでもなく、これからが各自の完成を目指す時期となる。ある人は、故郷の同窓会までに完成させたい。また、ある人は喜寿の記念小冊子を作りたい。・・・とか

思いさまざまに「自分史」は、これからである・・・。

近々、岬の歴史館の資料製本に「簡易製本機」導入がされ、「自分史」受講生が実費で利用できることに話が進んできた。

「自分史」ほどではないが記録写真を含め、書きためたものを製本したい人、資料をまとめたい人もあるだろう。気楽な「自分史講座」は、これからも大なり小なり「記録をつづる」という思いを持つ人の集りとして続けていく。

今回の3連続・日曜日講座は、日程的に不適切と反省。受講希望の声を聞き、月一回講座・開催曜日・日時など考慮して次回開催を検討中である。

講座担当 竹中松子（歴史館サポーター）



サポーター竹中さんによる楽しい授業風景